

## 「避難の権利」に関するアンケート（中間まとめ）

### アンケートの概要

- ・実施主体：福島老朽原発を考える会（フクロウの会）、国際環境 NGO FoE Japan
- ・実施期間：2011年7月5日～24日（中間とりまとめ）
- ・実施手法：インターネット、紙での配布、メーリングリストでの呼びかけ
- ・回答数：272

### 質問1：避難を考えていますか。

避難を具体的に検討している、または考えている、と回答したのは165人、すでに避難をしていると回答したのは84人、避難を考えていないとしたのは8人であった。妻や子どもを避難させ、夫がとどまっているという回答も多かった。既に避難をした人よりもさらに多くの潜在的避難者が存在することが推察される。

避難先も含めて具体的に検討している	81
まだ具体的には検討していないが、考えている	84
避難を考えていない	8
すでに避難している	84
その他	30
無回答	1

自由回答：＜別紙1＞参照

### 質問2 - 1：避難に係った費用を把握されていますか？

回答者のうち、7割以上が、避難にかかった費用を把握している。

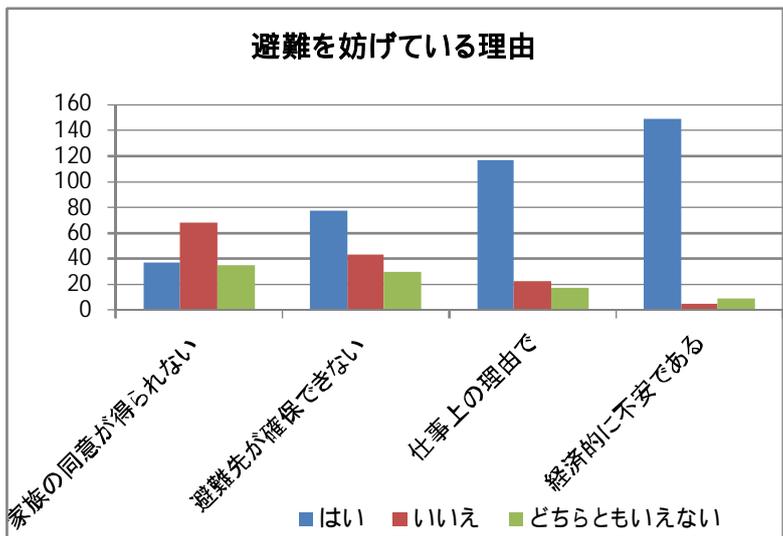
はい	69
いいえ	24
その他	1

### 質問2 - 2：避難にあたり、どのような用途にどのような費用がかかっていますか？

避難先の家賃（敷金・礼金）、引っ越し費用、避難先を探しに行くための交通費、福島に定期的に帰ってくるための費用、もとの仕事に通う交通費などがあげられている。多くの回答者が、二重生活に伴う費用の増加をうたっている。事故直後に一時的に避難をした人も多いが、引越し費用だけで30万円、家賃を入れると100万円を超えるケースがある。詳細：＜別紙2＞参照。

### 質問3：避難を妨げている理由は何ですか？

避難を検討または考えている人の多くが、避難を妨げている理由として、「経済的に不安である」「仕事上の理由で」をあげており、「家族の同意を得られない」「避難先が確保できない」を上回った。自由回答では、住宅ローンを抱えている、避難区域外の避難に周囲の理解が得られない、家族がばらばらになってしまう、自分だけ避難することに対する罪悪感、避難先で子どもがいじめられないか、安全な避難先がないなどの理由が挙げられた。



(N=181)

#### ・家族の同意が得られない

はい	37
いいえ	68
どちらともいえない	35

#### ・避難先が確保できない

はい	77
いいえ	43
どちらともいえない	30

#### ・仕事上の理由

はい	117
いいえ	23
どちらともいえない	17

#### ・経済的に不安である

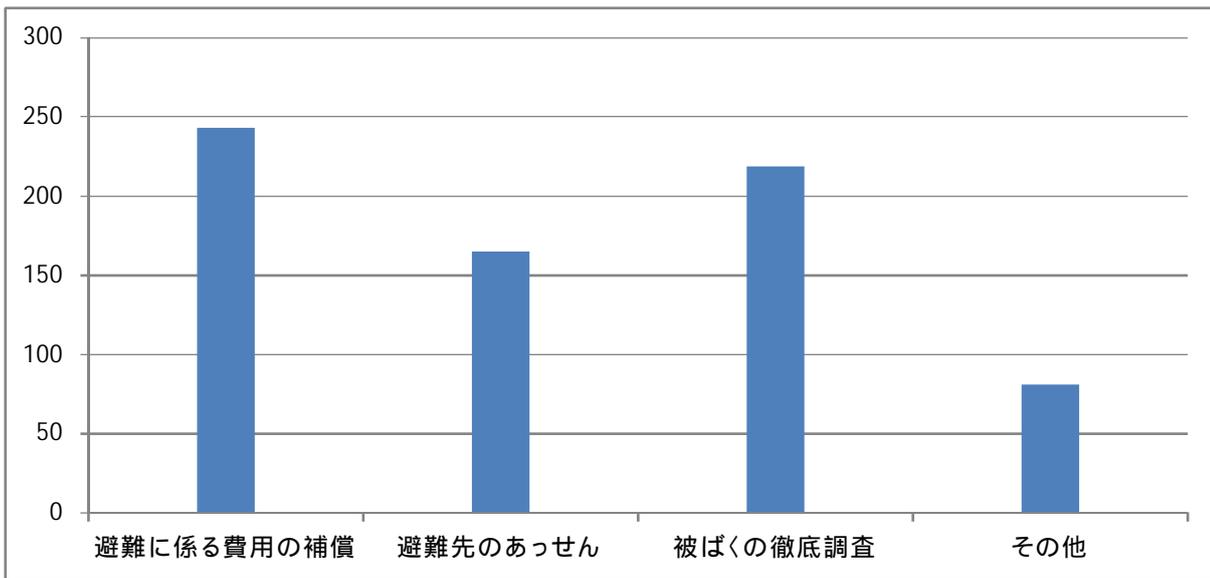
はい	149
いいえ	5
どちらともいえない	9

自由回答：<別紙3>参照

質問 4 : 避難に関して国や行政に支援してほしいことからは何ですか？（複数回答可）

避難に関して国や行政に支援してほしいこととしては、避難に係る費用の補償という回答が、243 で最も多かった。自由回答では、子どもたちを避難させた上での調査、避難区域の拡大、避難先での就労支援、食品の調査、除染の徹底、もとの家の買取、被ばくの検査と継続的な健康管理などの要望があげられた。

避難に係る費用の補償	243
避難先のあっせん	165
被ばくの徹底調査	219
その他	81



自由回答：別紙 4

回答者の住所（任意記入）：200

うち福島県	172
うち福島市	85
うち郡山市	39
うち伊達市	10
うちいわき市	8
うち二本松市	2

## 「質問 1 : 避難を考えていますか」 自由回答

- 一先ず短期で東京の避難者受け入れ先に三歳の娘と二人で避難する予定です。
- 避難先は決まっていますが、子どもの幼稚園の終業式をまってからの避難になるのでまだしていません。
- 1次避難として、関西の親戚宅、その後両親のいる海外に避難しました。  
避難した理由は、妻が妊娠初期だったこと。  
正確な放射線量のデータや原発事故収束の見通しが分からなかったということ。  
これまでの政府や報道機関の発表内容を見ていると、避難して正解だったと思っています。
- 夏休みは北海道に一時避難する
- 避難先息子に何かあった場合すぐに対応できるため近くに避難福島県湖南町第二東京都青梅市第三には京都市近くに原発がありますが中古住宅購入も検討しています。
- 避難させているのは、妻と子ども。私は福島市内に留まり、仕事をつづけています。
- 福島県の中通りに安全・安心な場所はないです！引っ越し前の家の庭で2マイクロシーベルトを越し、家の中も0.4はある！  
チェルノブイリでは避難区域になるくらいの線量です！  
国、県の大丈夫なんて信用できないので、自主的に避難することになりました！国も東電もちゃんと賠償請求するからな！ふざけるな！
- 2学期からの転校を決めています。
- いったんは自主避難したが学校が始まるので1ヶ月で戻った。仕事を2ヶ月休み、再開したが、状況が不安定なので再度、自主避難を考えているがふんざりがつかない。
- 既に避難しているが、化学物質が多く苦しいため、さらに化学物質の少ない所を探している。
- 夫が仕事を辞めることはできないと言うので、もともと住んでいた福島市から近い会津若松に転居しました。しかし、福島県の対応をみていると、耳を疑いたくなるような対応ばかりで、福島県民でいるのが嫌です。こんな県だけど、仕事のこと、実家のことなどで離れられないというのが現実です。
- 4月から毎週末、放射線量の低い地域へ週末避難(日帰り)しています。
- 福島には永住する気になれない。子供の学校の関係で少しずつ福島から離れたたい。
- 放射線量の影響が少ない所 = 遠いところが良いが、母子のみの避難となり、夫は残るので、行き来に時間も費用もかかるので、考えてしまう。
- 福島市在住の48歳です。身体に障害があり、無職です。放射線の不安のため、3月18日に東京に避難し、ビジネスホテルに滞在していましたが、経済的な理由のため、6月6日に福島市に戻ってきました。できれば、避難したいです。
- 本当に危険かそうでないかが今の情報では判断できません。  
事実を公表してほしい。
- 4歳と1歳の子供を連れて、母子避難です。主人は仕事のため、福島に残っています。
- 自主避難なので、いままでの生活すべてを捨てての生活になります。とても心細いし、理不尽ですが、命の方を選択するしかありません。
- 7月中旬から徐々に荷物を移し、下旬から住む予定。  
福島市から山形県米沢市へ。
- 避難は難しいので、お盆休みの1週間だけでも保養させたい
- 7歳の息子のみ、里子となって避難している。
- 仕事の契約上 来年4月に避難したいと考えています。  
子供だけでも早急に 汚染されたこの地域から離れてほしいと思います。

- 妻子のみ県外の妻の実家へ避難している
- せめて、夏休みだけでもと考えていますが、普通の生活も(自宅でのんびりしたり、プールに行ったり、お友達とも過ごす時間も大切にしたい)したい。思っきり、外で遊んだり、深呼吸させてあげたい。
- 避難先、日程も決まっています。
- 福島市から山形市へ避難中
- 実家が原発 40km で、家族 3 人が 2 ヶ月宮城に避難していた。東京にも 1 ヶ月受け入れたが、落ち着かないので福島に帰った。  
すべて自費で、不自由な思いで、動いています。やりきれません。
- 妻子のみ 3/13 に避難。
- 20km 圏内の為。
- 東京江戸川区在住。子供が心配で岡山に引っ越します
- 3/15 日の原発爆発後、0 歳と 2 歳の乳幼児二人を抱えているため、青くなり一時疎開しました。が生活が続かず戻ってきています(東京ですが。)  
。放射能の影響は長引きそうなので移住、引っ越しを改めて検討しています。
- 私は今でもすぐに避難したいが、夫が「(両方の)両親もいるのに、俺たちだけで避難してどうするの?」と言われて、それ以後避難の話をする、険悪な雰囲気になってしまうので、出来ない。
- 私は福島から上京しており、実際に避難を強いられたのは私の家族です。  
大熊町、双葉町、浪江町から避難しています。
- 私は福島から上京しており、実際に避難を強いられたのは私の家族です。  
大熊町、双葉町、浪江町から避難しています。
- 長期避難は家庭の事情で無理なので、子供の夏休みを利用しての避難しか出来ません。
- 低線量被爆を考えると、数年後の自分達の健康状態に自信が持てない。政府は 20 ミリシーベルトなどと無責任な数値を押し付けているが、地球が滅びようとも、その因果関係を認める事は無いだろう。国が押し進めてきた原子力なのだから、事故による損害はもれなく賠償すべき事で、国民に押し付ける類の物ではない。
- 自分は検討中だが、家族が避難している。
- 子供の体に悪影響のあることはわかっているので、すぐにでも避難したいと思っているのですが。
- 妻子は大阪に避難中。私は避難していない。福島から仙台への転居を考えているが・・・。
- 就職の機会が西日本にあり、もし、震災がなければ断っていただろうが、震災があったゆえに検討を考えているという時点で、間接的に「避難」を考えているんだろうと思う。
- 避難したくても非難できない状況(子どもの学校が続いている。原発事故の業績不振のため失業し、家のローンもある)にある。毎日見えない恐怖におびえながらも避難したくても非難できない状況に苦しんでいる。
- うちの家庭では、主人の決断で、早々から避難しておりますので、二重生活等の苦勞があっても、健康被害がないのでいいのですが、あちらにまだいらっしゃる方が今後被害に遭われたら・・・と思うと心配です。
- 子どもたちだけが、避難させています。福島第一原発の放射能漏れが終わり、完全に収束し、我が家の田畑の汚染の心配がなくなるまで、子どもたちは疎開先にて暮らしてもらおうつもりです。私は日本で仕事をしているので、ハワイと日本を行き来しています。
- 私(夫)は仕事のため残っています。妻子は避難しています。
- 三姉妹の母です。日々不安で居てもたっても居られません。たまらないです。
- 住み慣れた場所は離れたくないが、子供の事を考えると避難した方が良いと思ったりする。水や野菜などの食べ物が心配だし、福島県産の野菜を売っていてとても心配。
- 大人は仕事があるので、長期で家を空けるのは無理。しかし、外で遊べない子供達は夏休みの大半を使い林間学校に行かせる。

- 夏休みの保養を申し込みました
- 未婚なので、県外で嫁にもらってくれる人を探しています。こうして避難できればいいなと。親も一緒に行ければですが。
- 避難先は放射能がないところに行き、放射能を考えずに生活したい。
- 京都市営住宅への妻子避難
- もうすぐ避難する(夏休みから山形)
- 10週間程なので夏休み1ヶ月間、孫のためにもう1週間程、避難先を探している。
- 夏休みから避難することが決まっている。
- このアンケートの回答は、すべて福島県に住む私の妹の事情です。姉の私は東京都内ですが、避難できない事情の妹が心配です。

妹は母子家庭です。避難先に生活費を送ってくれる夫はいません。年老いた両親が同居しています。やっと2年前に、契約社員から正社員になりました。49歳です。特に自慢できる能力があるわけではありません。子供は中学2年生の難しい年頃です。若ければ赤ちゃんと2人、新天地を目指すことも考えられますが、まもなく50歳の女性です。避難先で仕事に就けずに生活ができないのなら、避難した事にならないと思います。両親をおいていくことも出来ません。世間では避難した人や避難できる人を応援する声が強くなってきているように感じます。避難できない人への支援こそお願いしたいのです。

- 3月11日頃より国外に避難しており自宅に戻っていません。
  - 現在妊娠9ヶ月で、出産は、郡山市で考えていますが、出産後、避難を考えています。
  - 通勤可能な白石へ今週末引越予定。放射線量が低いとは言えないが福島の1/10なので、子どもの被曝をいくらかでも減らせると思うので
  - 子供は小学生2人おります。アレルギーを持っていて、子供だけの避難は難しい。(経済的な理由も大きいです。)
  - 子供だけとりあえず夏休み疎開
  - 米沢市へ避難しているが、1年間はアパート代は支援してもらっているが、その後がどうなるのか不安。
  - 富山県の会社(YKK)、三重県、東京は7月に面接予定。
  - 避難者の受入側になっています。ただし人ではなく犬です。南相馬市の避難区域外です。ばあさん、母、子供2人です。父は南相馬で仕事をしています。
  - 小学校教員として、子供たちの避難をサポートする事を想定しています。宮城県涌谷町の学校です。
  - 子供のみ既に避難
  - 東京に姉がおりますので、孫(10ヶ月)や娘と一緒にいこうとしております。日頃、太陽に出会っておりませんので、思い切り外を散歩させたいです。
  - 合宿(部活など)林間学校を行い、1週間以上の一時避難をする
  - 妻子は避難中。私は福島に残っている。
  - 夏休みから山形へ避難(小4と小2の子と母親のみ、中3と中1の子は父親と福島に残るが、夏休みと週末は山形へ)
  - 静岡の富士宮市に7月末に超す予定
  - 8月に避難します。学校が夏休みに入ってから引っ越しします。
- 既に自主避難準備は完了してます
- 震災、原発事故後に(19日)東京の主人の実家に子供達を連れて避難しながら原発の終息が見えず不安なまま先月29日に郡山市に帰宅しました。

5ヶ月の息子と3才に先日なったばかりの娘。

帰宅してからは30度を超えていても外出時はマスク(基本は出かけない)で子供ながらにストレスでわがままになりました。東京に戻りたいが原発事故のせいで主人は解雇になり、年末に家を建てたばかりでローンもあり、私も帰ってきて就職活動せざるおえない状況での帰宅です。

子供を考えれば福島を離れたいが...と悩む一方です。

- 国を追従し、たよりとするしか能のない市や県の対応に腹が立つのを乗り越してうんざりだ。こちらの頭がおかしくなる。
- 今月の終わりに避難します。
- 罹災証明も持っていますが、一部損壊で、自主避難扱いで公的支援がほとんど受けられません。このままこの状態が続くと生活も安定せず非常に苦しい状況に追い込まれそうです。
- 避難というよりは、移住を決行した。
- 子供達だけ、義兄に託し明日から避難させる。
- 避難したいのですが、昨年家を購入してローンもあり、二重生活をしていく自信がありません。子供が夏休みの間北海道に避難します。長い休みに母子避難しかできないのが現状です。もし、本当に避難となっても主人は残ると言っており、下に一歳の子供もいるので、幼稚園保育園に預け働き、はたしてやっっていけるのか？就職難の時代に専業主婦していた自分を雇ってくれる場所などあるだろうか？毎日悩んでいます。
- 家族は避難している。
- 避難先が決まり、8月に移動予定
- 7月25日、札幌、桜台雇用促進住宅に行きます。子供4人と私との5人での避難です。主人は生活費を送るためと、住宅ローンがあるためこちらに残ります。
- 妻子のみを避難させました。父親・夫たる私は地元福島での役割があり、いつまた家族一緒の生活を送れるようになるのか分かりません。苦渋の選択です。
- アパートの礼金、敷金、家賃、保険、交通費。別居のため、生活用品一式の購入費(テレビ、冷蔵庫、洗濯機、ガスレンジ、オープン、電気釜、カーテン、カーペット、照明など)
- 正直、何もないうまま出て行くのは怖いです。でも、待っていてもリスクを多くしてしまうだけです。権利は欲しいけど、今はそれよりもいかに早くここを離れるかが大事だと思います。ただ、ここに残って生活し続ける人たちが心配です。
- この前、山形県で避難受け入れを行なっているのので、下見に行ってきました。

県のHPで放射線量が0.044と記載があったので、平常時の値と変わらないので安心して暮らせるかと思い見てきました。車で走りながら放射線量を計測できるのでリアルタイムでグラフ測定しながら行きましたが確かに福島から比べれば激的に低く・ホットスポットも見当たらず安定していましたが、山形市の公園で計ってみると、約0.18ありました。私の車が被曝しているのかと思い離れて単独で計ってもみましたが、殆ど変わらず、どう頑張っても0.044にはなりません。帰宅して再度HPを見てみたところ、測定箇所が高いところで測定している事が判りました。やはり、少なからず人工放射能は舞っているのだと思いました。ただ、誰もマスクもしておらず子供も公園で遊び普通に生活しているようでした。山形市・米沢市と見てきましたが殆ど変わりません。山形市は私的に落ち着けない環境のように感じ、米沢市だと落ち着いて生活できそうな感じがしました。

しかしながら問い合わせしてみると、米沢市は福島県からの避難者が多く空き住宅が無いそうです。残念ですが、また一からスタートです。

- 一刻も早く福島から避難したい気持ちで一杯です。経済的理由で避難したくてもできないなんて悔しいです。  
北風になった時の影響を考えた場合、どこが良いのか検討中です。
- 妻と子供二人が避難している。
- 実家への避難を考えています。  
その場合はどうなるのかとても不安です。
- せめて放射能の値が低い市内へ引っ越したいが、場所がない。実際の値と公表されている値があまりに違っており、不安が大きい。

「質問 2 - 2 : 避難にあたり、どのような用途にどのような費用がかかっていますか？」

- 避難先での生活費、交通費
- 福島で使用していた物はなるべく持ち込みたくないとの理由から、生活をするに必要なものを一から揃えなくてはいけませんでした。
- 大人 2 名分  
引越費用: 25 万円程度  
移動費及びホテル代: 30 万円程度  
その他: 30 万円程度
  
- 仕事を辞めたこと: ??
- 家探しをしに行き、その後引っ越し作業などしに一度戻ったりするその往復の交通費、引っ越し業者に支払う代金、家の契約にかかる敷金、礼金、仲介手数料など。
- 交通費 住居費 生活費
- 家電製品や寝具
- 移動までの交通費、宿泊費、荷送り費用が主
- 引っ越し費用  
移動費用(高速代・ガソリン代)  
ガス台、湯沸かし器(福島の住まいではオール電化だったため)
  
- 30 万円!
- 引越しの挨拶の品、転校先の体操着や文具新調、引越し代、交通費、月一の帰省費、同居姑のヘルパー代・宅配弁当代、夫の外食代、2 箇所の新聞代、子供の医療費一時負担
- 交通費(ガソリン代など)、避難した先での日用品などの調達、家を借りるための敷金・礼金、さらに再度自宅に物を取りに行ったりするための交通費。
  - ・ 引っ越し費用、交通費  
は把握しているが、その他は把握できていない。
  - ・ ミネラルウォーター、外国食材など汚染されていない食品購入費
  - ・ 避難のため、仕事を辞めたので、収入がなくなり、税金等の支払いが大変
- 一時避難の交通費、移住のための引っ越し費用  
交通費  
食費(調味料など調理に必要なもの一式から、弁当などまで様々)  
生活用品(掃除用具や医療品など、新しく買いそろえたものから消耗品まで)  
光熱費  
隣県の避難先から仕事のため通っているのでガソリン代が通常の数倍かかっている
- 交通費、滞在費、生活費
- 海外に避難しているため、その渡航費用、生活費など。居住費はホームステイをさせていただいているので無料。
- 避難交通費、(一時)避難先での生活費、今後の新しい避難先での生活をはじめのための引越し経費等 計 100 万円かそれ以上かかっています。
- 仕事の喪失  
車の燃料と車の消耗費

電車代・船代

情報入手するための電話代

移動中・移動直後の外食(普段の内食より高くつく)

備蓄食料の喪失(腐敗や汚染により新たに購入)

家賃・町内会費・インターネット・電話など生活費が2重に必要

日用品を新たに購入

- 交通費(ガソリン・高速料金)
- 通信費(電話・郵便・宅急便)
- 衣料費(衣類・寝具)
- 医療費
- 食費(食事・こどものおやつ・飲料水・水)
  
- アパートの敷金、礼金、手数料
- 引越し業者代
- 母子避難なので、週末に夫が車で来るときのガソリン代
- 夫との二重生活のため、寄贈される家電以外の家電購入費、水道光熱費の二重の基本料金の支払い、避難先へのガソリン代、高速料金(被災者無料制度前)、
- 引越費用と就職が決まるまでの当面の生活費。
- 高速料金、ガソリン代、アパートを借りる料金、毎月のアパート代
- 引越し費用(業者・トラック・人工)、
- エアコン取り外し、
- 引越し先の修繕費、
- 引越し先近所への挨拶、
- 物件確定までの移動費、
- 引越しが完了するまでの二重の生活費(家族が別れて生活するため)
- 旅費(ガソリン代、宿泊費)
- 家賃(賃貸料、敷金)
- 家電製品
- 交通費、食費・生活費、保育園代
- 光熱費 20000
- 福島からの移動費(車および新幹線など数回)、子供の幼稚園の転園費、足りない衣料の買い足し費、医療費(住所移転をしていないため)など。
- 生活全て変わった為に、住居費などです。
- 高速道路代
- ガソリン代
- 交通費、ホテル代、疎開先で借りたアパートの家賃、家具・家電の購入費、自動車輸送費、通院交通費などで、3月16日～7月11日まで、家族4人で、約120万。
- 移動費(飛行機代、フェリー代)
- 滞在費(マンスリーマンション)
- 生活の基盤を整える費用(着の身着のままの避難だたため)
- 引越代
- 入居費用

- 自宅にパパ、避難先アパートに母子での二重生活。  
母子での生活のためホームセキュリティ代、NTT回線代、駐車場代、光熱費、避難先と自宅の交通費、日用品購入、掃除機やドライヤーなど購入、布団購入、台所用品など購入。
- 駐車場料金、共営費、水道光熱費。仕事をしているので子供の学童で一万円、保育園に3万円。初期の生活用品。カーテン、カーペット、電気、テーブル、洗濯物干し、布団一式を2組、食器、棚、掃除用具。  
あとは福島市と米沢市を往復している旦那のガソリン代。私も仕事で福島市に行くことがあります。  
子どもに会いに行くための交通費
- 自宅が千葉で、三月下旬から奈良の実家に私と子供達で避難している。主人が毎週末会いに来ていたが、新幹線代が多くかかり、家計も苦しいので、車で千葉に月に一度帰っている。避難にかかる費用について気にしだすと、千葉に帰らざるをえない、と思えてくる。子供達の将来を一番に考え、避難費用のことは考えないようにしている。
- 避難時の交通費  
荷物の引っ越し費用  
定期的に避難先と行き来する交通費
- 引っ越し代金 329050円  
マンション賃貸 584366円  
冷蔵庫 116000円  
交通費 フェリー26000円  
航空券 72100円  
その他カーテンや家電など今後揃えていく予定です。
- 家電・生活家具等:20万円弱(主人は福島に残っているため家電類は新たに一式買い揃えた。無料提供は1か月以上もかかると言われ諦めた)  
子供の小学校転校・転入園等にかかる費用:入園料等5万(認可保育園は市民でないと入れないので私立の幼稚園に入らざるを得ない)月々6万円(幼稚園と学童)  
福島市 山形市への通勤新幹線定期代 月74550円 福島市内の移動に月約1万円  
実家の家族は、移動費、滞在費、食費、着替え代、下着、ほか消耗品、薬に費用がかかっています。
- 交通費。20万円くらい。避難先の近隣住人が親切で差し入れが多く、食費は減っているかも。
- 交通費・事故を受けて震災翌日に緊急的に避難したため、子どもと自分の当面の衣類購入費・引っ越し費用。あと、費用ではありませんが家族一緒に暮らすため、主人が職を辞める事になりました。
- 交通費(飛行機)  
滞在費(食費、生活費)
- 交通費  
水  
避難先への土産
- 避難所からの移動費。光熱費。一時的借家家賃。一時的借家の家具、または、送迎費。一時的借家から知人宅引っ越し費用。就職活動費。食費。通信費。
- ガソリン代 主人が避難先にくる際の移動費用 これから二重生活で必要になる家電や生活用品の費用
- 避難先下見のための交通費・宿泊費  
引っ越し費用

廃業のため、残っている月々のローン返済

店舗不動産の家賃(契約解約3カ月分)

- 岡山への下見・

(これからの見込み)

岡山へのまたの下見、引っ越し代、東京で仕事の残務処理を半年はしないといけないので東京～岡山の交通費(複数回)、そしてまだ未定の岡山で仕事を探すリスク、東京は持ち家だったのでローン&岡山での家賃

- 交通費(母子疎開をしたため、会いに来る父親の交通費がかなりかかりました。)、宿泊代。

これから移住するに当たっては引っ越し代、下見の交通費宿泊代。

- 電化製品

(テレビ、洗濯機、冷蔵庫、電気、幼児のミルク用のポット、掃除機、扇風機、クーラー、パソコン、ドライヤー)

紙オムツ

粉ミルク

洋服

食料品

- 電化製品

(テレビ、洗濯機、冷蔵庫、電気、幼児のミルク用のポット、掃除機、扇風機、クーラー、パソコン、ドライヤー)

紙オムツ

粉ミルク

洋服

食料品

- 住居賃貸費・手数量 約12万円

給湯設備・ガステーブル等 3万円

妻退職による給与所得原 60万円、その他家財庫入 8万円

- 交通費、生活費(食費、宿泊費)、防護服代などの直接的費用に加え、移動や準備にかかる時間や労力の機会費用

- 妻子の飛行機代、空港までのガソリン代。避難先での生活費。私が大阪に面会に行く際の飛行機代 JR新幹線代 ホテル宿泊代 レンタカー代 ガソリン代等。

これらは放射能汚染が無ければ本来発生しなくていいコストである。

- 交通費

生活用品の購入

- 旅費:福島～埼玉(車)ガソリン代

埼玉～兵庫・新幹線代 (家族5名分)

- 身内の家に避難しているので食費や光熱費、子供の学用品、避難した時は寒い時期だったので夏物の洋服、下着等、その他にも自宅にはある細々したもの(針と糸、お弁当箱、帽子、ヘアブラシ、服などを収納する物など小さい物が本当にたくさん)

- 警戒区域内に住んでいた者です。

3月12日以降は全て避難費用としてみてもらう。

- まだ避難はしていませんが、夫と夫の両親を残し、子供三人を連れ夏休みに入ったら避難します。

なので、生活に必要なものはすべて揃えなければ生活できません。まだ今から買い揃えるものもあるので、レシートは必ず保管しておきます。

- 311前は自給自足の暮らしをしていました。今は、家を借り、何でも買わなくてはならないので、大変です。

かかったのは交通費(飛行機代)、家賃、食費、家具や電気製品など暮らしに必要なもの一式。

- 医療費、交通費、衣服
- ホテル代、交通費など
- 3月の初めの爆発後、家族7名で、福島空港から札幌へ。  
自宅から空港までのタクシー代。  
札幌からJRで函館に住む家族の元へ避難。  
4月に、息子の小学校が始まるというので、帰宅。  
函館からスーパー白鳥で青森へ。盛岡まで新幹線。  
迎えに来た家族の車で高速で自宅まで。  
6月、息子と二人、再度函館へ。新幹線・スーパー白鳥利用。  
交通費

宿代・居住費

通信費(携帯・ネット)

引越し運送費

(医療費一長期化し、貯金のそこが見え、買えないので買わない)  
(食費一割引商品で切り詰める)

- 六月までは子供とペットの犬を連れ、近隣の地域に週末のみ行ってましたので、ペット可能なホテルをさがして寝泊まりする費用。  
六月頭に引っ越しをするのに引っ越し費用。自主避難のためアパートを探すのに対象地区へ二度足を運んだ交通費、アパートの初期費用、アパート代金。慣れない土地での迷った分のガソリン代金。子供の幼稚園転園代金。預かり保育代金。妊婦のため、妊婦検診にかかる他県での余計な費用。出産に伴い、子連れ出産にかかる差額代。勤務先までの新幹線通勤代金。  
福島では旦那をおいて母子疎開が多いが、母子家庭やうちの様に旦那が仕事を失うとそれが不可能。
- 避難先での宿泊費、生活費(主人が郡山にいるため二重生活になる)移動にかかる交通費、子供の医療費(郡山は無料だったため)など
- 移動交通費  
医療費  
親戚宅にお世話になったお礼代  
手荷物しか持っていけなかったので色々な雑費代
- 宿泊代金、交通費、生活必需品の購入費(家財道具をすべて持ってきていないので購入が必要)  
通信費(自宅の電話やインターネットが使えないので携帯電話にたよっているが、費用がかさんでいる。また、日常生活では連絡をとらない行政等の問い合わせに費用がかかっている)
- 引越し代  
転居先の入居費用
- 引っ越し費用、家具家電費用、失業による当面の生活費
- 交通費(飛行機代)  
生活家電、生活雑貨購入費
- 神奈川なのですが、借家を解約しないまま福岡の実家で様子見をしています。仕事や人間関係を置き去りにしていることは精神的に非常に苦痛です。
- 新幹線代10万円、航空券代80万円、引越代60万円、ホテル代70万~50万円、ホームステイ費用月9万円、国際運送費4万円、国際電話料金2万円、海外携帯電話購入費用約2万円、介護施設退去に係る費用10万円、旅行用スーツケ

ー購入費用2万円等

(教育関係)

大学院では原発事故に伴う自主避難への特例などはなかったため、大学院への学費の支払分が丸々無駄になった(70万円損失)。また、専門学校も同じく特例などが無い為、これまでに専門学校に約200万円の学費を支払っているが、学校は在学期間延長を認めないので、今年の9月末をもって退学になる予定になり、学費支払が無駄になる。避難に伴い、学費支払分だけでも、損失は300万円に達する。

- 震災後1ヶ月程度、自主避難しましたが、その時に20万円程度の費用がかかりました。用途の内訳については、避難のための長距離移動と精神的ストレスから「切迫流産」になり、避難先で緊急入院しました。期間は、2週間程度でしたが、今後総合病院での長期入院が必要になるかもしれないと医者から話をされ、出産をどこでするかを決めるように言われました。そして、家族と親が残っている福島に帰る決心をして容態が安定した時に帰りました。その移動費用、入院費用を合わせると20万ぐらいになります。帰宅後、福島県人は医療費免除になると話を聞き、保健センターに伺いましたが、自主避難での医療費は出せないとの答えでした。
- 季節が冬から春、夏になり子供達の洋服やらに費用がかかった。
  - ・ 自宅(いわき市)から東京までのガソリン代
  - ・ 宿泊費2泊分(大人2名、子供2名)
  - ・ 東京から広島までの交通費片道(新幹線を含む)大人1名、子供1名
  - ・ 子供の入学準備費
  - ・ 夫の交通費(いわきー広島)2往復分etc.
- 家族の移動 8万円  
毎月の生活費 20万円
- 交通費。家賃。仕事をやめたため生活費。
- 旧居の増設部分の解体費用および新しい住居の補修費、引越は家族の手で行っているため、移動費など。
- 交通費、アパート代、家電購入  
義兄に託すが、避難先の自治体は家屋半壊以上の罹災証明がないと支援が受けられない
- 移動費、二重生活における家財道具一式 学校備品 制服等
- ガソリン代、被災者向け無料区間以外の有料道路通行料、家電品購入費、生活用品購入費、電車乗車券代、新生活にかかる諸々の雑費
- 自主避難なのでアパートの敷金礼金家賃。最低限の生活に必要な家電。生活費。
- 予備校生の娘の予備校再度入学 600,000円、車の購入 1,000,000円、住居、高校等の準備の往復交通費、宿泊費 100,000円、生活準備 100,000円など
- 当初、家電の手配が絶望的で、実費で用意をと思いっていました。しかし、あまりにも経費がかかりすぎて、避難してからの生活も金銭的に不安になり、道に問い合わせをしました。一ヶ月とちょっと前でした。入居が決まっていれば日赤家電を申し込んだ方がいいと言って頂き、27日に納品していただけるようになりました。そのほか、航空チケットや、引っ越し便の配送や...うちは家族が多いのでなおさら、出費がかさみます。
- 高速代 ガソリン代
- 一時避難先への移動に5万円、  
身の回り品を送ったり揃えるのに10万円、  
避難先での生活に毎月12万円ほど(家賃5万円/月を含む)、  
夫が会いに来る交通費5万円/回  
他にも一時避難を決めるまでの3ヵ月半の間、週末避難をしていた際の費用は別です。
- 引っ越し代金(線量の低い実家への一次避難)、交通費(東京への二次避難と京都への三次避難)、移動経費(家族に会うためのガソリン代等)、二重生活のための費用、避難生活用の物資購入費、など

- 飛行機往復代、  
滞在費、  
長距離引っ越し費用  
前職の厚生年金保険料と現在の国民健康保険税との差額。
- 引越し業さんへのお支払い。新しい住まいへの敷金礼金。新しい家財道具。移動のための交通費  
引越し後の生活(無収入の状態のため)
- 現在とりまとめ中。  
最低限としては、家の売却差額など
- 食材はほとんど自給していたが、畑を放棄したため食材費がかかる。  
(アレルギーで無農薬、無添加しか食べれない)  
移住先を探すために北海道、本州、四国、九州を移動したため交通費、宿泊費。  
アレルギーの関係で 100km 離れたところの歯医者に通う事になった、その費用。避難先は島のため船代もかかる。  
住んで無い福島の家の家賃もかかる。
- 交通費、移動中の外食費、生活小物
- 避難先での生活費、家族に会いに行くための交通費。
  - ・ 避難のための移動費(新幹線代)
  - ・ 避難のための宿泊費
  - ・ 避難先での生活のための費用(家電・風呂設置)
 宅急便・引っ越し便

## 「質問 3 : 避難を妨げている理由は何ですか？」自由回答

- 地元には、まだまだ子供を抱えた保護者がいます。  
線量をはかり、除染を市や県に促す運動も必要だと思うので。
- 「ただちに避難」という認識が社会に無く、「自分だけ逃げる」ことに罪悪感のようなものを抱いてしまう。
- こどもが新しい学校で『放射線・福島からきた』ということではいじめられないか不安
- 知り合いのほとんどが、政府が大丈夫と言うなら大丈夫。と答えます。私の周りの友人たちは避難区域になったら避難すると言っています。  
みんな小さな子供がいます。  
子供たちが大事で、避難したい気持ちもあります。本当に危険なら、避難勧告をして下さい。
- 大学を卒業するまで、あと2年なので迷う。医療系大学なので、他大に転学するにも学費がかさんでしまう。 避難指定区域外なので、実費で避難しなくてはならないのが辛い。  
自分の生活費はもとより、息子の学費や生活費を送金するためには、今の仕事を継続するより方法が見あたらない。  
仕事上の責任感。
- 放射線量が大丈夫なのかどうかの判断ができない。周囲はまったく普通に動いていること。仕事があること。子供が多い(5人)ので幼稚園から高校まで転校にふみきるのが難しい。
- 母子家庭で経済的に余裕がありません。 避難したい自治体に問い合わせると「家が全半壊していますか？」「福島の方ですか？」と聞かれ「違う」と答えると「公営住宅への応募者資格がありません。他を当たって下さい。」と断られてしまいます。自治体に頼らず探しても、地域の保証人無しで借りられる所は無く、大丈夫な物件は高かったりします。家が見つからないと仕事も見つからない、保育園にも入れられない。小学校をあまり何度も転校させたくないの一度で決めたい。お金に余裕があれば暫く安いビジネスホテルに子供と滞在して動くとか、いろいろな地域を見に行くとか出来るけれど、私にはその余裕がありません。補償があるのなら周りに迷惑を掛けるのも少なくて済みます。親に借金してでも避難したいです。
- 障害のある子を抱えている。
- 補償がしっかりしていない。見通しがたたない。
- 自主避難したくても出来ない理由
  1. 父親は仕事を辞めて避難する訳にはいかず、母子避難をすれば、家族ハラハラな生活を余儀なくされる。
  2. 避難区域に指定されている地域に住居があるわけではないので、自主避難をすれば、かかった費用は自己負担。 その状態をどれだけ続けられるのか分からず、なかなか決断できない。
  3. 見ず知らずの土地で、母子のみで新たな生活をしていくのは、精神的にも負担が大きい。
- 我が家には子供が二人おります。小学6年生の双子女子です。子供たちに避難の話をしてみましたが、友達と離れる事は絶対イヤ。 パパだけ残る事にも反対でした。やはり、12歳ともなると親の希望だけで避難を選択することは困難ですね。子供の健康も心配ですが、子供がどうしたいのか、これからどう生きたいのか、という気持ちを尊重してあげることも必要かとも思います。
- 一番大きいのは、経済的な負担です。後、子供の教育環境。自分の子供達だけが、避難し、新しい学校に行くのは、子供達にとって大きなストレスになると思うので、避難のハードルを低くしてもらいたい。希望すれば簡単にできるなど。
- 学校や仕事の事。避難の指定になってない所で実際に考えるのはかなり難しい。
- 夫の会社、その他がここにあるので、夫は移動することができない。家族が長期にわたり離れることには不安が残る。
- 日本国内だと老朽化した原発があるか、福島以外の原発事故の理由であちこちすでに関東並みに線量が高いと聞き安全だと思える候補地がない。海外だとビザ取得の手続きや困難さがあり、調査中。負担がかなり大きく、難航している。
- お金 高校の転校 仕事  
どこの場所が安全なのかわからない

- 子供の受験がある
- 長男は中学生、二男・三男は小学生です。やはり、友達と離れたくないと...放射能のない所に行きたいけど、みんなと一緒にならいいと言っています。その気持ちも良く分かります。  
もう1つの理由は、やはり仕事です。仕事を辞めて、知らない土地に行くのは、経済的にもとても不安です。  
国が補償をしてくれて、地区ごとの避難をさせてほしい。
- 政府や行政が避難勧告をしない限り働いている親は無理だと思います。  
母は、仕事上今年度は動けません。  
父は、仕事上避難できません。  
福島県ときいて 陰湿ないじめにあうのではと不安です。
- 避難をする事は決めましたが、原発の収束も先が見えず例え収束しても元の安心して過ごせる福島に戻る保証がないのでいつまで避難をするのか経済的にも家族離れて暮らすのが辛い
- 住宅ローンもあり、仕事をやめないと、避難はできない。主人の両親とも同居しており、費用的にも、かなり困難。こどもが学校を変わりたがらないし、全額自己負担の自主避難をするには、生活していく保障はない。
- 夫と自分とで、放射能に対する意識が異なり、かみ合わない。
- 避難することは決めたが、自主避難は個人負担があまりにも大きく、住居、仕事など問題が山のようにある
- 玄海原発再稼働で揺れているように、避難先でも原発事故があるようなことは避けたいと考えてしまうと、避難先が決められない。玄海原発再稼働を絶対にしてほしくない。九州、中国地方に避難を考えるのが難しくなってしまう。
- 子供がいる家庭が優先されているので、子供がいないと避難できない雰囲気になっている。  
両親や夫に、チェルノブイリの強制避難地域と同じくらい放射能で汚染されているといっても、メディア・行政が放射能がたいたことではない、と言っているのを信じていて、避難を真剣に考えてくれない。
- 福島県民に対する他県の人の見方や、子供への精神的影響。
- 東京都内の汚染状況は放射線管理区域に相当するにも関わらず、まるで何事も無かったように社会生活が営まれている。夫の会社自体が「避難」をしない限り、私達家族も避難は出来ないだろう。二重生活出来る程裕福では無い。
- 仕事が現在地に固定されてしまう職種(大学教員)なので、その人員は避難することができない。
- 二人の思春期の子供がおります、健康を一番に考えたら自費でも直ちに避難するべきなのですが、転出先ですぐになじめるかいじめがないだろうか等考えたらなかなか踏み出せません。また一時転出した場合、どの程度の避難期間なのか読めないので受験先を決めるのにも問題もあります。
- 仕事先がないと私の立場(関東)だと避難は基本的にできないのが現状。補償があるわけではないとすれば、仕事の問題は大きくなってしまふ。
- 何も補償がない中で、家族がバラバラになり二重生活による経済的負担が苦しいです。
- 避難指示がでると、避難先の確保や税制やローン、義援金など様々な経済的支援をうけることが出来るが、福島県内でも避難指示等をうけることが出来ないので避難できずにいる。
- とりあえず夏休みだけでも無理にお願いして避難します。ですが、二重生活するほどの経済的余裕はありません。住宅ローンがあるので、それから、子供達に関しては不安がたくさんあります。友達関係もそうですし、健康面でも不安があります。
- 子供が自閉症のため、新しいところに慣れるのに時間がかかります。それに特別支援学級・病院・福祉などの連携がとても大切なので、知らない土地に行くには下調べが重要になります。非難 = 移住になると思っているので、ダメならまた次というわけにもいかないでしょう。今まで築いてきたものを捨てて、新しい場所に行くのは体力も金も精神力も必要だと思われまふ。
- 子供の転校先の確保
- 仕事 only です。
- 夫は仕事があるため、まずは母子避難をしたとしても、家族はバラバラ二重生活、家のローンは残る。全てが不安。

- 母子だけで7月末に山形へ避難します。(そのため、今はまだ避難していない状態)。  
私の両親も同居しておりますが、自主避難はせず、家族はばらばらです。夫は理解してくれており、週末のみ山形へ来る形になります。それから、上の欄にはありませんでしたが、多くの人は「子どもを説得できない」という場合も多いように感じます。  
政府が「安全」と言い張るので  
親だけが一生懸命説得してもなかなか子どもの気持ちを変えることができずに悩んでいる方が多いように思います。我が家は園児なのですが、それでも子どもの環境をかえることへの不安はやはりあります。
- 親兄弟が避難しないで残るため  
コミュニティの崩壊  
(子どもの学校・住地域)
- 避難しても避難先が汚染地域外とも限らないので「どうなのだろう?」と思う。原発収束に見通しがつかず、どれだけ汚染区域が広がるのかわからないのに避難しても意味があるのか…。汚染状況など調査や対策が後手後手なので避難してもまた、移動するのでは意味がない。と思う。
- 子供が高校生なので、転校の問題。  
実家で1人暮らしをしている母の通院などの問題。
- 建てたばかりの家、住んだばかりで何年も戻れないという不安。子どもが小学生で学校への送迎やマスクなどで被ばくを防ぐ生活を続けるか、家族バラバラで生活するか迷っている。
- 仕事をやめると迷惑がかかる、そして言われる、近所も、家に誰もいなくて迷惑をかけるんじゃないかなど精神的なこともある。戻ってくるときのこと考えたら、出る勇気がでない。
- 家族1人1人の考えの温度差があるので…母親として心配。部活(中学)野球に燃える息子…現実が見えていない。
- 住宅ローンを抱えながらの生活は厳しい。
- 仕事も解雇になり、経済的に無理がある。40年も住み慣れた場所を放射能ごときにうばわれたくない。
- 住宅ローンなど考えると主人は仕事がやめられないため、母子のみ避難するしかない。本当は家族一緒に避難したい。
- 仕事がなければ生活できない
- 実家が自営業でその手伝いと、去年母がなくなり家事の出来ない年老いた父を残して遠くへ避難は難しい。
- 小学生と高校生の子供がおりやむなく小学生と私だけ避難する選択をしました。高校生の息子が社会に旅立つ残り少ない日々を大切に過ごしていたのにこんなかたちで家族がバラバラになるなんてつらく、でも状況は何も何も変わらず苦渋の選択です。
- 妻は避難したいと思っているが、子どもが友達と離れたくない。  
妻は私(世帯主)も一緒に同行してほしいというが、職を失うことになり、躊躇している。妻子と私が別居になるしかないかと考えている。
- 切り詰めた生活をしている中で、原発事故が起こり、それにより本来ならかからなかった出費が必ず出てしまいます。避難できる、ということは、避難費用が立て替えられる程度のお金があるということです。立て替えられる余裕の無い場合は、そこに留まるしかありません。選択肢がありませんから、悩むことすら出来ません。そんな痛みも数多く存在します。親の経済格差が子供の安全格差に繋がるのが悲しいです。ですから支援はまず、非難できない大多数の方に向けて欲しいと願っています。
- 主人の会社に転勤希望を出しましたが、本社からの回答は嫁と子供だけを避難させろというものでした。私は初めての出産と育児に不安があるのに、一人で知らない土地に行き、一人で子育てをしと言われてように思えて涙が出ました。私の両親は、仕事をしていますし、姉の子供(1歳、3歳、5歳)の面倒も見ていますので、一緒に避難することはできません。なので、主人が仕事を辞めて一緒に避難をするか検討していますが、周りからは「子供が産まれるのに、二人とも仕事を辞めてどうするんだ」と厳しい意見を言われています。自主避難を受け入れてくれている自治体はたくさんあるので、その心配はないのですが、失業してからの再就職先があるのか等の経済的な不安があります。

- 子供や妻だけで避難させると不安がある(防犯)
- 実家が会津なので、そちらに避難すればよいのですが、やはり今の学校ごと(サテライト校)というものが有効だと考えています。
- 自分には子供はいないが、親がおり仕事仲間がおり友人がいる。それらの人たちは避難が難しい。自分だけ避難はできない。
- 中学生の息子が部活を続けたくて、避難に同意しない。
- 地域コミュニティーの理解が得られにくい 地域をすてた者とみなされるなど。
- 家のローンを組んで、まだ2年しか返済していません。空けて出て行けばしごともなく、ローンの支払いができません。仕事がなくなるから収入がなくなる。
- 放射線を避けて生きることを選びたいのですが、今、仕事をやめてしまうとローンやら生活費やらで経済的に生きる事ができなくなる。仕事があり、(今のよう)生活ができれば避難ができます。
- 住宅ローンの支払いが不安。仕事を辞めざるを得ない。地元消防団をやめなければならない。福島に残す両親との2重生活で費用がかかる。
- 移住先を探しているところです。(仕事を含めて) (大きな機械の移動が大変なので、すぐに辞められない。)
- シングルマザーで、4歳と7歳の男の子が2人おります。難病指定されていない病気(ギランバレー症候群)を抱えながら働いています。
- 住宅ローンがある。両親を置いて行けない。学校。どこまで行けば安全なのか? 避難先の数値を知って動きたい。
- 3才と一ヶ月の子供がいます。上の子が以前に小児ぜんそくで2度入院していて、避難先での免疫低下や入院などが頭を過ぎり、踏み切れないでいます。山形県に一度申しましたが断念しました。再度、検討中です。
- 避難の初動状況が生じていません。多くの心配が寄せられています...被曝は続いているのですが...
- 介護を必要とする親がいる
- 子供の転校など精神面が心配。いじめが心配。
- 多額の住宅ローンがある
- 中3の子供が学校行事(修学旅行など)などを理由に転校を嫌がる(今、夫婦で説得中)
- 現在、私が生まれた土地(今は縁者は少ない)の静岡県富士宮市に移住を計画している。5才の息子が夏休みに入ったらと考えている。職場は半ば強引に辞めるが、まだ次の職は決まっていない。不安があるが行くしかないと思っている。
- 主人の仕事の問題。子供達の学校へ対する思い。友達。
- すべてを保証して欲しいとは言いません。住宅ローンだけでも何とかしてもらえれば。
- 私と子供は避難できても、主人は住宅ローン払い義務の為、生活費の為、残らなければならない。
- 県のアドバイザーにより騙されて、安全と思わされている。  
会社でも話題にしづらい。
- 大好きな家、大好きな福島から離れる決心がつかない。今の生活を捨てる決心がつかない。平凡だけど、家族みんなが幸せに暮らしていたのに。悲しくなる。
- 質問4のところに関連します。  
今回 中部地方や関西・中国地方へ行き話す機会があったが、ほとんどの人にとって東北の震災・原発事故というのは過去のことであり遠い対岸のものなんだという印象を強く持った。  
つまり簡潔に言うと、原発30Km圏外から我々が避難をしても白い眼で見られてしまうということだ。こんな不幸、不公平があって良いものでしょうか。
- 経済的にかなり苦しいが子どものためなので避難します。先がなにもみえません。  
自主避難では何の補償もないですもの。
- 避難先は決まっているのだから仕事との折り合いがつかない為。

- 主人との意見の違いも含め住宅ローン、仕事を辞めて避難することになるので経済的不安。避難先でやって行けるかどうかの不安。離婚して避難しようかとも考えるほど追い込まれている状態。子供の精神状態も心配。
- 既にしていた2ヶ月の避難で、家族で一緒に容れない事や、避難先での生活でのストレスで子供(幼児)も、私自身も避難するなら家族でと思うと、主人の仕事や経済的に不安で避難にふみきれません。
- 金銭面に、余裕も無く犬も飼っている。犬も連れて行きたいし、引っ越しの費用も無い。避難のあても無い。
- 放射能対策に関する健康相談の仕事があるから、離れないのが一つの理由。家族が避難している東京と福島を往復している。
- 仕事を退職後避難先で就職できるのか、子供達の社会(友達や環境)、特に息子が軽度発達障害がありイジメ等の不安がある。しかし将来の健康障害を考えると避難するべきだと思う。
- 小学生の子供がいて、転校に抵抗がある。できれば学校単位での集団疎開の実現を望んでいる。
- 教員として生徒たちの避難が保障されない以上、その選択はなきに等しいからです。退職をしても自責の念からは逃れられないと思うからです。
- 長期避難は仕事の関係上無理なので、幼稚園の夏休み期間のうち2週間だけ、京都の友人宅にお世話になる予定です。旦那は仕事なので、育休中の私と子供2人が避難します。
- 福島に持ち家があり、その管理を考えている。また、収束し、子どもが巣立ったら戻りたいと思っているが、地元の人に「故郷を捨てた」と思われるのが怖い。
- 子どもの高校のことで...私立に在学中。年老いた母親がいること。  
正社員の立場を捨てて行ったときに経済的にかなり不安なこと。(現在 就労は私1人)  
家のローンの件など  
いろいろ考えると避難が難しくなります。
- 子供の学校のこと
- 高校2年の男子がいます。進学や部活の事、友達との繋がりや避難はしたくないといっています。でも、内部被曝のことを不安に思っているのも確かです。友達ちとのホームステイや編入先の高校などの条件を整えば踏み出せるのではと思うのですが、サテライト避難が早く実現すればと思います。
- ここに残る人たちが正しい知識を得られない、ということが心配でした。また、ここで自分にも何か出来る、と思っていました。福島を離れることで、人ごとに感じてしまうことが怖かった。  
経済的にも不安があったことは確かです。  
でも、もう自分のリスクを高めないために避難することを決めました。避難を考えている方のきっかけになれば、本当に嬉しいです。
- なぜ、東電の為に、我々がこんな思いをしなければならないのか。子供を避難させ、安全な場所で、今までどおりの生活をさせて欲しい。子供は避難、その間に街中の除染。東電・国が福島の子供たちに対して、最善の対策をするべき。
- 小学3年生の子供は、今の学校環境がある為、行きたくないと言っていた。
- 3人の子どもの転校などへのストレス・自分の避難先での再就職が可能かどうか
- 3人の子どもの転校などへのストレス・自分の避難先での再就職が可能かどうか
- 避難先での仕事(生活費の確保)が最優先ですが、日本国内で何処に避難して良いか?福島県外(近隣県)は補償、避難先での住居等の対象にはならず動けない
- 上の子が転校を望んでいません。私も、何とか卒業まで学校に通わせてあげたい。  
でも、無理かもという思いが日に日に強まります。

## 「質問 4：避難に関して国や行政に支援してほしいことがらは何ですか？」自由回答

- 子供には避難命令を。  
子供のいる家庭には経済的援助を。
- 少しでも危険性があるならば、子供たちを避難させてから調査をしてほしい。  
すでに4ヶ月何も状況は変わっていません。子供たちが4ヶ月も放射能の不安と恐怖で自由に外で遊ぶことができないなんて...国は福島の子供たちを守ろうとしてくれているとは考えられません。悲しい現実です。だから自分たちで行動を起こし家族が離ればなれになって、避難しなければならぬのです。早く何も心配のない土地で、家族みんなで生活が送れるようになりますよう、ただ願うばかりです。
- 住宅ローンの援助。土地の税金を軽減するとかも。売れないし、住めないのをどうしてくれるんでしょう
- 金銭的なものもそうですが、精神的なことへのフォローも欲しい。  
また放射能に対する考えの温度差が、地域差でありすぎるので、避難先での理解が得られない心配もあります。
- 知人や同僚は未だに避難できていません(避難指定区域でないため)。  
妊婦及び乳幼児のいる家庭については、避難エリアをもっと広げてほしい。  
早くもとの場所に戻れるようにしてほしい。具体的には、放射能をこれ以上外部に出さないようにしてほしいのと、食品等の調査をもっと徹底してほしい。また、放射性物質を拡散するような行動を謹んでほしい(福島の瓦礫を他の地域で処分する。福島や近県の食品を他の地域に流通させるなど。)
- 避難先での就労支援(長野県では支援があります) 避難先での就労は避難を考えている方々の一番の不安要因です。我が家でも移住に対するストレスで主人が引っ越し前に体調を崩しました。
- 原発から距離で避難区域を作るのは間違っている。放射線量で考えてください!
- 住めると言うなら、安心してここに住めるように、除染の徹底。制度の整備。放射線対策の周知徹底。子ども達や妊婦、未来のある若者たちへの放射線対策の整備。  
危険なら、速やかに避難指示、避難場所の確保をお願いします。  
放射線の高い場所から、短期間でも離れた方がいいのなら、放射線の影響がない場所のレジャーや短期間でも滞在できる施設の確保。  
もちろん無料開放。  
準備できたら周知徹底をお願いします。
- 今一時的に母と子は実家に避難しています。  
避難に関し家賃や光熱費等あまり経費はかかっていません。ですが、単身生活する夫はクリーニング代、避難している家族に会うための交通費、家族そろっていれば必要のない経費を出費しています。避難に関する出費だけでなく、放射能汚染により必要になった水の購入、除せんするための機械、ガイガーカウンターの購入、等々本来なら必要のなかった物を購入しなければいけなかった経費。  
そして何より、家族離れて暮らす精神的苦痛が一番大きい。
  - ・ 放射線安全キャンペーンをやめること
  - ・ 風評被害などと言わずに、原発事故による損害とちゃんと言うこと
  - ・ 大人も含めた避難が無理なら、せめて子供たちの集団疎開をすること
- 住民票を移さない場合、子供の医療補助(定期検診や予防接種なども)が受けられないため、その問題も考えて欲しい  
これまでと同等の仕事の斡旋。それが無理なら避難前の収入の完全な補償。  
持ち家を放棄した場合の損害の補填。
- 就学支援

- 支援住宅以外にも支援してほしい。化学物質に弱く、普通の支援住宅は入れない。近所から孤立した築100年以上くらいの住宅でないと。探すのに体力も経費もかかる。
- 我が家には3歳の男の子と、流産しなければ8月に生まれる予定だった男の子がいます。  
放射線量が高い、福島市渡利地区にある築2年足らずのマイホームで子育ての出来る環境ではなくなったので、東京電力に買い取ってもらいたい。  
そして、新しい基盤づくりに手を貸してもらいたい。  
現在は、マイホームのローン、福島に残る主人、自主避難した母子で、金銭的に無理を強いている状況なので、医療費の軽減、幼稚園や保育園の費用の軽減、生活支援金の交付があるとだいぶ助かります。
- 県民に汚染の事実を早く周知徹底させてほしい。
- 避難先での当面の生活費。
- 福島県と隣接県も含めて、早く補償を始めてほしい。風評被害も当然その範囲に入れるべき。
- 個人的には、避難に踏み切る準備に入っています。家族の同意も得られました。  
ただ、自営業のため・・・福島のお客様の感情を考えると、後ろ髪を引かれる思いがあります。  
また、今後への生活の不安は拭えません。
- 避難にかかわる費用は、まだ現在進行形でどんどん増えていっている状態なのでまだわかりません。
- 避難先から、わざわざ危ない福島に戻って検査を受ける人は少ないと思います  
全国で無料で被ばく検査と治療を受けられるようにしてほしい  
ベラルーシ政府を見習うべきです
- 今、福島県民は暑さと、ストレスと、見えない敵(放射線)と戦っています。本当に毎日が不安で不安で... 精神的にも体力的にも限界です。原発から30キロ圏内にお住まいだった方や、線量の高い地域の方々には、義援金や東電からの補償金、お見舞金の支給が行われていますが、そのほかの県民に対しても、国や東電は補償金を支給するべきだと思います。県民全員に対して補償する義務がある！
- 避難に掛かる費用では無く  
子供達を避難させる費用として  
手当てを出していただきたい。  
リフレッシュ避難などの為に。
- 福島県民の中でも不安に思っている人もいれば、全然気にしてない人もいる。その温度差が辛い。子供(中、高校生)がいて不安に思っても現実的にどうすることもできなくて気にしないようにするしかない。気にしてる人の方が、時間と共に肩身の狭い思いをしてるのはおかしいと思う。
- 難民扱いにしてくれるよう、各国に働きかけをしてほしい。
- 東京に自主避難していた期間の宿泊費、医療費等を補償してもらいたい。
- 避難しない場合でも福島県に住む時点で環境整備、食料など色々負担が発生します。通常ではかからないはずの費用がかかっています。全ての人々が避難できるはずがないのでそういう人への補償も必要です。
- 実家のある埼玉に避難しています。本当は、もっと遠くに避難したいのですが、その場合、主人と私たちとで完全な二重生活になってしまうため、経済的にできません。子供たちを、もっと放射線の影響のないところへ連れて行きたい。
- 数年後に避難せざるを得ない状況になる人もいる。(夫の転勤で線量の高いところに行かなくてはいけなくなった等)  
その場合でも補償が出るような制度が必要。
- 東京から、心肺に障害のある子どもを連れて沖縄に自主避難中です。経済的、肉体的、精神的負担に対する政府の公的謝罪、脱原発の確約を要求します。(自主避難者への補償は不可能でしょう。期待していません)
- 現在、福島の人たちは不必要な被曝をしていることは間違いなく、そのことに対する慰謝料、人様の土地、建物を汚してしまった賠償を全ての住民に公平に行うべき。

- 4月に子供の学校が始まりましたので、福島県の除染作業が次々と行われ、夏休み前には、安心して暮らしていける線量になると思って帰って来ましたが、待っていたら、死んでしまいます。  
いわき市在住ですが、学校の校庭の土はこのままのようです。  
早く避難しようと思います。
- 避難先のあっせんですが、学校単位での避難先のあっせんを希望
- 避難先は山形県の借上げ住宅を借りることができました。  
自費での避難を検討していましたが資金面で厳しかったので  
福島県からの自主避難も受け入れしていただき、赤十字からの家電も大変助かりました。  
それでもいろいろ出費はかさんでます。
- 避難先も、キャンプなどのレクリエーションもすぐにいっぱいになり、定員に入れない。
- 学童疎開
- 正しい情報を迅速に公開してほしい。  
もう信用できないし、何を信用していいのかわからない状態です。内部被爆に関して真剣に考えてほしい。外部と内部被爆での計算方法を教えてほしい。政府はもちろん、行政も東電の責任を明確にし、補償をしてほしいです。
- 共働きで、ギリギリで生活している状態です。富裕層の方には理解不能かと……。  
母が無職になり、二重生活となると経済的に不安です。  
高線量地域に留まると健康面に不安です。  
チェルノブイリ以上の被曝を強制する民主主義の国は、命より大事な物が沢山あるようです。  
原発の恩恵を実感したことは皆無ですが、関東圏の電力供給の為、汚染された地でモルモットを強制する民主主義国家 ”日本 ” ”福島県 ” に子供を産んだことを悔いるばかりです。  
内部被爆検査、これから先の健康診断やもし病気になったときの保証。避難先での職業斡旋と仕事をしたら保育所など子どもの保育先を優先的に確保。
- 県内の除染や食品の放射線量表示の徹底などによる、子供が再び福島(郡山)で安心して生活できる環境の構築
- 避難区域の方が近くに避難してきています。費用どころか、補償額だけでも、一ヶ月に何十万もでており、仕事も(公務員なので)しっかり保障されている。かたや、こちら(郡山市在住ですが)では、線量の高い地域に子どもを通わせ、避難するには、仕事もやめ、費用も全額自己負担。家の修理・修繕やら、費用はかさむばかり。このうえ、本当に避難するなら、いつまでかもわからないし、費用がいくらかもまったく不明。正しい情報も少なく、内部被爆を調べるのにも、かなり時間がかかりそう。どうして、そんなに時間がかかるのか???こどもの未来をいったい、どうやってまもればいいのか、わからない。避難すればいいのかもしれないが、全額自己負担の自主避難しか、道はないものか、考えない日はありません。
- 集団疎開(サテライト疎開)が実施できるための補助。
- 福島全土の土壌調査と迅速に避難体制を整えてもらいたい。  
今後住み続けられる土地か否かは調査後検討すればよい。  
先ずは人の健康の確保。
- 1才児をかかえて眠れぬ日々を過ごしています。実家(いわき)の家族や親類を考えると、暗澹たる気持ちになります。自分の故郷を、娘に見せてやれない。行政と癒着構造のせいで、見殺しにされます。
- 家族単位での避難あっせんは、規模的に無理がある。集団疎開の形態が現実的。避難を希望する側も、覚悟すべき。
- 避難基準が高すぎるので、せめてチェルノブイリ事故時のロシア基準並みにしてほしい。内部被曝についても食品の基準をドイツに準じて欲しい。それが無理なら年代別基準を設けて欲しい。特に胎児や子ども達をしっかり守って欲しい。
- 就職活動、生活基板等を決めたので、各窓口ではなく、一律化してほしい。

- 避難先の放射線量  
(土・水・緑に近い場所で)  
学校給食の安全性  
食べ物からの汚染の可能性を徹底的に調査
- 就業の斡旋  
生活費の補償  
など
- 具体的な費用もですが、仕事など将来へ希望を持って前をむける支援を。何かが起こってからでなく(農業の方には作ってしまってから農作物を出荷停止するなどでなく)先読みして手をうってほしい
- 全国の原発をとめてほしい。  
避難できる安全な土地、安心な土地を残してほしい。
- チェルノブイリと比較して、この地域は放射能が高いので、国の方で、「強制的に避難しないさい」と明確に意思表示をしてほしい。  
強制的に指定されないと、避難したくても、家族内でまとまらないで、バラバラになる。
- 福島県から避難してきたと安易に口にできない。  
差別をされる現状。  
福島県民 = 被爆者、放射能汚染者  
このような扱いをする人をなくしてほしい。  
また、無駄な国の集会は、外で行ってほしい。  
節電や義援金に少しでも協力している姿勢を態度で見せて欲しい。  
5月に文科省で行われたデモに参加したが、文科省の大臣は菅首相とサッカー協会主催の行事に立ち会っていたとか。  
前もって取り次いでいたはずなのに、対応がおかしい。  
そんな国の頭たちのやる事なんて信じられない。
- 母子家庭、父子家庭等の弱者を優先して、避難先の育児・教育機関の提供と仕事の確保
- 放射能測定器の配布もしくは貸出。
- 一刻も早く、首都圏が高濃度汚染地域であると認めるべき！！私の住む町は0.16マイクロシーベルトもある。年間1ミリシーベルトを超える値だ。
- 自宅は、職場の施設課が測定したので、最高値で8 $\mu$ SV/hとなっている。政府は、30km 圏内よりも数値が高い個所が出てきている福島市、郡山市やその周辺を、避難地域から除外しているのは、総損害賠償を低額に抑えようとする意図が丸見えである。将来的に水俣病のような訴訟が発生し、高額な損害賠償が発生した場合、福島市、郡山市や近隣で高線量が確認される約30～50万人の人口を、現段階で避難させておいた方が、よほど安価であると予測される。
- 昔からの住民や地域によっては避難することを良く思わない方もいます(仲間意識が強く悪いことではないのですが。)また事故から4ヶ月が過ぎ避難の話はもうタブーとされているような感もあります  
しかし、原発の現在はまだ落ち着かず汚染の状況も変わらないことは確かです。  
毎日悩んで心を痛めている母親たちの為にも、国や関係機関からの指示、指導が一言でいいので欲しいです。  
これで(特に母子避難)今、迷っている家族も行動に起こせるかと思うのですが。
- 放射能汚染を誤魔化さない。まず母子は優先して避難させる。除染に手こずってそのまま生活させるなど有り得ない。まず避難。そして除染。そして、放射性管理区域に相当する場所はもちろん、年間1mSVを超えるところは全て避難・賠償等の補償をすべき。
- 被曝の調査と同時に、健康診断を被災した人全員が受けられるように(ひいては日本に住む人が受けられるように)徹底してほしい。
- 子供が他県でいじめられるのが不安です。学校単位での疎開を検討してください。

- 放射線の影響がないというなら、今後数年内にガンや白血病等の放射線由来と考えられる病気が事故発生前と比べ明らかに発症率が上がった場合の責任又は治療費の保証をすると約束してほしい。それが出来ないなら自主避難に対する保証をするべきである。
- まずは、この夏休みだけでも早急に子どもの学校活動を休止して欲しい。授業は休みになるが部活動があるので短期間の避難をしたくても出来ない状況への対策をしてほしい。  
現在、国や行政は子どもを学校にしばることで、その親や家族もその土地に居ざるを得ない状況をつくっている。子どもの将来や健康を第一に考えて、一時的にせよ避難が必要だと思うので、各家庭の経済状況に関わらず、皆が公平に安心して避難できる体制を整えて欲しい。
- 妊婦、子どもの避難をすすめること。  
安心して戻るよう、除染を早急に行うこと。
- 避難場所は7カ所。妻は職を失い収入が無くなった。家族を避難させ、私は家族と離れ緊急時避難準備区域へ仕事のため戻っている。  
また、国の支援「生活再建支援法」は、自然災害のに適用となり原発被害は当てはまらないという。長期避難に当るはず。県の認定も遅い。津波で家を亡くした方々ほどではないにしろ、家に住めない状況であることには変わりはないはず。国の支援が無いのなら東電に補償、若しくは賠償してもらえない。
- 汚染される前の状態に戻してもらえれば、もちろん我が家に帰り今まで通りの生活をしたいので、除染の徹底(田畑、庭、畦道、山などすべての除染)、汚染されていない水、野菜といった食材すべての調達。健康調査も一回だけではなく、定期的にしていただかないと意味がありません。
- とにかく放射線量の高い地域の人をまとめて計画的に非難させて、其の間に徹底して除染を行ってもらうのは難しいのでしょうか？地域ごとの集団であれば可能だと思います。
- 放射線量の安全基準を緩めないでほしい。食品や飲料水の基準まで緩めていたら、子どもたちが内部被曝して、取り返しのつかないことになります。
- 福島地区の子供達の集団転校先
- 会社側に避難できる方は避難した方がいいと通達してほしい。不公平とかそんなのではなく、郡山にいる意味があまりないのが現状。ほかの事業所へいきたい。
- 自主避難という形で私達被災者に丸投げするのではなく  
きちんと政府(行政)側から  
「避難」の指示を出して欲しい。  
それが一番の支援です。情けないほど低レベルな話ですが。  
それが無いから、家族の中でも意見が分かれたり、子どもに危険だと説得するのが難しかったり、一番は「普通の誠実な市民」はなかなか仕事を捨ててまで「自主」避難にふみきれなかったりするのです。中通りはどう考えても当然避難区域だと思います。  
それから、被曝の徹底調査はもちろんのこと「しらべたが問題なし」という単なるデータ集めだけのための調査はごめんです。きちんと健康被害に対しての対策をとってほしいです。一生。
- 学校ごと避難させて欲しい。
- 質問4:東電に  
避難にかかる費用を保障してほしい。  
税業がやったことだから、法律はどうあれ、倒産するまで保障するのが筋。そうして沖縄電力以外の他の原発稼働電力会社に請求し、電力会社を潰して解体して、民間の会社を立ち上げ、その利益から保障の不足分をまかなう。(それでも不足するかもしれませんね)  
保障はまず線量の高い地域から。
- 地元の子供たちにガラスバッチが配られています。が数値が表示されるわけでもなく親御さんの安心にはつながっていません。町が3カ月に一度データが届くので問い合わせる形らしいのですが、本当の情報をもらえるのか不安に思っています。

す。

線量が高い場所に行くとは危険を知らせるわけでもなく、外出時は首からぶら下げるだけのバッジに疑問を感じます。町の子供たちはモルモットじゃありません。親御さんたちも子供の被ばく量を日々、目で見て確認できると期待してはいたはずで。

経過を一年で区切る意味もわかりません。

ガラスバッチを配るなら線量が低い地域に逃がしてからでもいいのではないかと思います。

線量が高い飯舘村の子供たちが、そこそこ線量のある川俣町にバスで送迎されているのを見るととても切なくなります。避難させるなら中途半端じゃなく、きちんとさせてあげて欲しいです。

- 自主避難であると場所により行政の支援は全く受けられないため、子供に食べさせる食料、ペットフードの援助、赤ちゃんへの支援物資などの配布をお願いしたい。りさい証明や身分証明書の提示により十分可能と思う。
- 私は同居している父親からきちがいといわれました。それでも子供を連れて家を出ました。テレビや新聞紙からしか情報を得ない年寄り安全だと思い込んでいます。避難先ではとてもよくしていただいています。父親は私がパソコンで仕入れた情報をデマだと思っていて避難をやりすぎだといひます。セシウムがこれから何十年も地表にあり続けることを理解しようとしません。実家では父親の愚痴や暴言で残っている家族が苦しんでいます。実際は安全ではないのですから事実を報道してほしいです。家族の理解が得られなくて避難できない人が多いとおもいますので。
- 上記の事は福島県内全員にして欲しい。転校先での心配があるので高校ごと避難、本当ならば福島県ごとどこかへ避難が一番良い。
- 避難後の生活補償
- ペットも家族です。一緒に住めるところ考えて欲しい。
- 健康診断の義務化、健康診断の無料化、放射性物資由来の疾病と診断時は、治療費の無料化(原発事故時、福島県在住であり、その後、どの土地で居住しても)
- 子どもの長期にわたる健康への補償、少量の放射性物資でも、取り除かれるまでの補償、細部に至るまでの手厚い補償。放射性物資による精神的に苦痛を与えられていることによる補償。
- 仕事のあっせん
- 被曝検査をしてくれる病院を公表してほしい。
- 母子避難になっても生活費は2重、車も1台必要とお金がかかる。家族になると主人の仕事が心配。
- 家族は避難したくても非難できずにいる。理由は子供の学校の問題。学校が継続しているため、子供も自主避難を望まないし、親も地震や原発事故、それに付随する親の失業とストレスが多く、さらにクラスで少数派の転校となるとその後の学校生活等が心配で親も強く勧められない。せめて、夏休み期間だけでも、部活動等の学校活動を休止させる事で短期間でも被曝を少なくできるようにしてほしい。チェルノブイリの子供は現在でもヨーロッパ各国に被曝を少なくするため夏休み期間など外国等に行くとの事を聞いたので、それを参考に夏休みは学校活動を休止して避難できる状況をつくってほしい。
- 避難地域でなくとも、私の居住する郡山市のように線量の高い地域で子どものいる家庭は、政府と東電の責任で、「選択」的に避難する権利を与えてほしい。
- 未成年者の疎開
- 人を送ってください。避難できない子供が少しでも被曝しないよう、毎日の除染が必要です。それは人海戦術になります。東電も国も行政も、何千人単位で人を各地に毎週送り、除染を徹底して欲しいです。失業者を救うこともできるのではないのでしょうか。また、被曝の徹底調査だけではなく、異常が認められた場合の医療費は、全額免除にして欲しいです。
- 正しい情報の公開を。被曝に関しても人権を守るためには厳しい現実であっても正しい情報公開は必要です。
- 自主避難者は多額の学費負担におされて、学校からの退学が避けられない状況を強いられています。このまま退学になりますと、キャリアも中断されるので、避難前の生活に戻るとか、国内での生活に戻るといことが現実的でなくなります。学校の在学期間の延長や休学措置の柔軟化、避難時の学費支払義務の柔軟化を御願ひしたいものです。

- 郡山市、福島市と線量が高くて人口が多いので、避難命令が出ないのは理解できます。しかし、妊婦、幼児、子供がいる家庭だけは政府から避難を勧めてもらいたいです。もう震災から4ヶ月も経っているのに、原発の収束はつかないし、通学路や学童保育の場所は、除洗されていない。市役所に問い合わせをすると、今、プロジェクト立ち上げて検討しているとの回答のみ。費用がかかるから早急に対応できないのも分かります。市は県に意見を申し立て、県は国へ、そして国と東電の話し合い、時間がかかるなら、子供たちを一時的に避難させてください。お願いします、子供たちの未来を守る為、避難を勧めてください！！
- 受入先でのトータルな支援の環境作り
- 学校全体の避難
- 固定資産税など問題(今年支払わないといけないのか?)土地の価値はどうなるのか知りたいです。
- 中学生・高校生に放射線のリスクについて、きちんと説明して欲しい。
- 被曝被災の認定 これによって、避難地での自治体援助等を受けられる機会が格段に増す。
- 更に仕事、今の住宅ローン等をやめ、全て捨てて避難できるかどうか。
- 健康の状態により医療費控除、どこへ行っても。
- 母乳の検査もして欲しい。乳幼児健診同様に定期的な被曝調査をしてほしい(他県に避難している人も)。避難先での医療補助・地元福島の情報発信、週末や長期休み避難についても補助・補償をしてほしい！！
- 各自治体によって支援が違う…。あそこはいい、あそこは悪い？
- 現在の職業上、会津にある磐梯町七つ村で芝のグラウンドを提供しています。(有料)0.24  $\mu$ SV 芝の直上、北路で0.6、集水の所で最大 1.6  $\mu$ SV を確認しています。避難しないで安全なのでしょうか。安全であればシリークライミング等のあそびも提供したいです。
- 避難先で就労の確保。避難して仕事なく、戻ってきた青年がいました。
- 被曝の影響と考えられるあらゆる医療に係る費用の補償、又、遺族への支援。
- 徹底的な除染
- 月1で会いに行くと20万かかる
- 自主避難を希望している人、した人がどれ位いるのか把握し、もっと積極的な支援をして欲しい。まずは現状を知って欲しい。
- 福島市各家庭をすべて除染してほしい
- 働く先の保証
- 家のローンを無しにしてもらえないと生活ができない。家族で暮らしたいです。離れて暮らさなくてもいい環境を整えて欲しい。
- 上記の全ては求めたい。一番は子どもに対する永続的健康フォロー。次は子どもは地域のコミュニティで孤立しない体制、差別を受けない体制作りをお願いしたい。
- 小学生の子供がおります。東電が起こした事故により何の罪もない子供が一日一日被曝しており、一刻も早く避難したいと考えておりますが、子供の将来、健康不安を抱えていかななくてはなりません。自主避難者に対して何の保証もしようとしない東電に対し、多方面に対して保証して頂きたい。
- 地域全体の早急な除染。通学路の除染。
- 避難してからも、体内の線量測定、健康診断、高速道路無料通行、など福島県在住民と同等の権利を要求します。
- 人体実験をやめてほしい。  
長期的に、健康管理をしてほしい。  
雇用の確保。地元企業の移転。学校の転入受け入れ。  
原発被害を「風評」に摩り替えず、すべてを補償し、汚染を拡大しない措置を。
- 福島市や郡山市なども、汚染地域と認め、避難指定地域にってもらえれば、諦めがついて、避難できる。そうならないから、ここで暮らしていけるんじゃないかという希望を持ったまま、今までの生活を続けてしまう。国は、今住んでいる家と土地と同程度の代替地を用意すべき！！

- 福島県浜通り中通り全域に対して(放射線量年間1ミリを越える予想地域)避難奨励して欲しい。  
外部被曝+内部被曝+精神的被曝  
一日も早く食品のベクレル表示をお願いしたい。
- あまりに酷い国の対応。原発事故がなかったかように今みな普通に生活しています。。恐ろしいことです。将来ある福島の子供達の将来はあるのでしょうか。毎日毎日苦しいです。助けて。。  
本当に助けてください。。
- 福島全域に被災証明を発行してほしい(放射線量の高い他府県含み)  
被災者支援をほかの罹災証明を持っている人と同等かそれ以上に補償をしてほしい
- 子供だけでもいいので一刻も早く被曝検査をして欲しいです。  
後は徹底した除染作業を夏休みの間にして欲しいです。
- 1:子供達だけでも、一刻も早く疎開させてほしい。  
2:一度、災害救助法に基づき避難支援されても、現在の原発の状況では、またさらに遠方に避難せざるを得ない状況が想定される。  
今回の原発事故に関する避難では災害救助法の適用は1度限りではなく、柔軟な運用を検討してほしい。
- 被曝対策を早急におこなってほしいが、近代医学ではいまだに具体的対策を示していない。国が安全であると言っている以上、対策に積極的にならない事はむしろ当然であるが、近代医学のみを国家医療の柱としてきた政策のつけは、いま国民に押し付けらようとしている。自然医学の観点から言えば、不定愁訴の実質的対策をおこなえば、将来の病気リスクはかなり減らせる。原発事故後、福島県内で約500名の健康相談をしてきたことから言える現時点での実感です。自然医学・東洋医学を被曝対策に取入れるべきです。
- 安全なところで安心して子どもを育てたい。当たり前な生活がなぜ補償されないのでしょうか。あなたがた(政治家)は、私たちのかけがえのない子どもたちを、なぜ自分の子どものことのように考えられないのでしょうか。命より経済や産業が優先される国だったなんて、日本に失望しています。
- 現在の被曝状況、将来健康被害が起こった場合の医療費免除、定期的な健康診断。(避難区域だけではなく)固定資産税・住民税等減額や免除。
- 受け入れをして下さっている自治体と連携を取り、避難をしたい福島県民を県や市でサポートして欲しい。市や県は何をしてくれるのでしょうか？受け入れをして下さっている都道府県では民間のボランティアの方々もサポートして下さっています。私達は、子供を守りたい一心です。子供達が健やかに生活できますように願います。
- 避難から帰ってこれよう、除染を徹底してやっていただきたいです。
- 会社が避難を容認してくれるような体制であってほしい…このままだと、避難してしまうと仕事復帰は困難。  
また子どもだけ避難されるのはリスクが伴う。母子避難を望む。
- 甘すぎる安全基準(年間20msv)を見直すこと。その認識の変更に基づいて少しでも早く避難支援を実施すること。
- 放射能による健康被害への明確かつ合理的な基準設定。特に子どもには最善の環境を整えるに足るレベルとすること(暫定基準の撤廃=年間1mmシーベルト以下の順守)。生活圈、教育圏での疎開支援(地域性を保持したままの集団疎開)、避難している間の徹底的な除染(一刻も早く原発事故以前の状態に戻すこと)、自然レベルまでの除染に時間がかかる場合は、新しい生活を余儀なくされる苦痛への補償と就職・教育・福祉の再構築を。
- 危険だから、避難するように、と、指示を明確に出して欲しい。行ってもいいんだと、行く人が正しいという、避難する際の明確な動機が欲しい。
- 避難後の経済的支援。避難から戻ってきたときに元の生活の保障。ローンなどの保障。被曝者管理手帳の交付。
- 健康診断、福島県に居たということの証明  
何かあった時の補償。。は正直あまり期待していませんが…
- 仕事を辞め、避難した場合の補償をして欲しい。

- 1: 3月の3回の爆発を国民に隠していた理由を明確にし、責任の所在を明らかにし、キチンと謝罪すべき。
- 2: 責任は当然東電にあるが、政府にもある。両者関係者一同の全員の退職と退職金を受けとらない約束をすること。天下りもナシ。
- 3: 反省を生かし「脱原発の道を探る」という国家的声明を出すべき。
- 4: すでに被曝してしまった国民に対する永久的補償。
- 5: 被曝を拡大させる汚染汚泥肥料や汚染がれきの拡散を今すぐ食い止めること。
- 6: 給食など子どもたちが口にするものについて、福島などの野菜を使わないよう指導すること。
- 7: 心配する保護者を「放射能恐怖症」などと愚弄する政府の原発安心キャンペーンをやめること。
- 8: お金に魂を売った人間が多すぎる、この国の道徳を一から考え直すべき。
- 1: 3月の3回の爆発を国民に隠していた理由を明確にし、責任の所在を明らかにし、キチンと謝罪すべき。
- 2: 責任は当然東電にあるが、政府にもある。両者関係者一同の全員の退職と退職金を受けとらない約束をすること。天下りもナシ。
- 3: 反省を生かし「脱原発の道を探る」という国家的声明を出すべき。
- 4: すでに被曝してしまった国民に対する永久的補償。
- 5: 被曝を拡大させる汚染汚泥肥料や汚染がれきの拡散を今すぐ食い止めること。
- 6: 給食など子どもたちが口にするものについて、福島などの野菜を使わないよう指導すること。
- 7: 心配する保護者を「放射能恐怖症」などと愚弄する政府の原発安心キャンペーンをやめること。
- 8: お金に魂を売った人間が多すぎる、この国の道徳を一から考え直すべき。
- 仕事のあっせん
- 低所得者は余裕がありません。今が大事だと思うので、避難したくてもできない人にせめて貸付て頂ければと思います。補償は東電がすべき事だと思います。
- 20mSv/年まで大丈夫だと述べられる政府および文科省の方には、身をもって安全を示してほしい。線量の高い地区に20mSvに達するまで家族ごと移り住んでもらいたい。食べ物地元で採れた基準値ギリギリの野菜や食べ物、水をもつてもてなしたい。これこそが、不安に思っている県民が最も納得する最高の対応なのではないだろうか。政府・文科省の家族が移住できるよう、地元自治体と調整して住居等を用意してほしい。飯館村役場も納得するのでは。移住先がなかなか見つからないため、空き家情報などの収集を大々的にやって欲しい。
- 中学生の娘と避難している。中学生が友達と別れる精神的苦痛は多大。学校ごと、学年ごと、クラスごとの疎開を実現し、子どもの精神的苦痛を少しでも緩和できるような避難の道筋を、きちんとつけてほしい。まだ残っている子どもたち自身からも、不安の声が出ている。子どもにこんな不安を与えている現状を、認識すべき。
- 原発事故によるすべてのことに関すること。
- 将来の子供たちの健康状態をしっかり支えていてもらいたいです。万が一孫の代まで何かあったとしても、孫、それ以上の世代までも。
- 小学生以上の無料受け入れがあるが、それより小さい子どもの避難やストレス解消の行事があまりに少ない
  - ・ 現在住んでいる福島市の持家周辺の線量調査に定期的・永続的にしてほしい。
  - ・ 被ばくに絡む健康診断を子ども、大人も定期的にコンスタントに(永続的に)してほしい。
  - ・ 病気がわかった場合は、治療の補償をしてほしい。

- 国策として、現在、福島で汚染されている土地すべての放射性物質の除去にかかわる研究・調査・そしてすべての土地の除染を求めます。避難は緊急の一時策です。爆発前の放射能値に戻して、いずれ福島に戻って生活ができるようになるための根本的な政策を実行していただきたいです。
- 避難したい人、したくない人も共通しているのは、ホットスポット(側溝)といわれる線量がとても高いところ(家や庭を含め)を優先して、なるべく早く福島全体を徹底除染して、安心して生活できる県にもどしてもらうことにつきます。モニタリングだけで安心はできません。

内部被ばくがわかった後のケアを充実させてほしい。内部被ばくの程度を知ること、そのあとの生き方を変えなければならぬのかどうか判断できる。今、福島のほとんどの人が十分に検査されているかどうか分からない野菜や肉、卵、牛乳を摂っている。健康診断を継続してやってほしい。検査結果後の治療も生活上のアドバイスも十分にほしい。